

# 神戸市少年団登山教室山行（3月9日）報告

2024. 3. 10

## 1. 参加者

教室生参加者 18名  
引率者 岳連理事4名（他に支援者1名）  
加盟団体会員1名  
教員ボランティア1名  
大学生ボランティア2名  
その他 神戸市より1名  
神戸市スポーツ協会より1名



## 2. 記録

9時15分 阪急芦屋川駅北側広場に教室生集合し出発  
9時44分 高座の滝 着  
10時30分 風吹岩 着  
11時32分 雨ヶ峠 着  
12時過ぎ 七曲り入口（住吉川上流部）着 昼食休憩  
12時30分 七曲り入口 発  
13時14分 一軒茶屋 着  
13時40分 六甲山最高峰 着  
13時50分 六甲山最高峰 発  
魚屋道を経て  
14時25分 魚屋道の東屋 着  
14時40分 魚屋道の東屋 発  
15時20分 湯泉神社 着  
閉講式を終えて  
16時前 湯泉神社 解散



## 3. 準備物

地図・コンパス・登山教室修了証・記念品（携帯用ハサミ）

## 4. 活動内容と感想

出発当初、薄日もあり天気は持ちそうだと思われたが途中から雲が空を覆ってきて小雪混じりの天気となり冬の寒さが戻った1日だった。阪急芦屋川駅北側広場に午前9時の集合の予定が参加予定の教室生との連絡に手間取り少し遅れて出発前の会合を持った。下見の時に猪が出たので猪に出会った時の心構えや岩場やぬかるんだ登山道は気を付けて歩くよう伝えた。



9時15分出発。芦屋川沿いに北に進む。早春の土曜日、人気のロックガーデンへのコースを多くの登山者と行きかいながら歩く。暫くして高座の滝に到着。休憩を兼ねて汗をかかないように衣服の調整などを注意す

る。ここから急な岩まじりの登りが始まる。険しい岩道を頑張って登る。両手を使って上手にバランスをグングン登ってゆく。ペースがいい。ただし少し列が伸びて来ているのが気になる。

10時30分頃に風吹岩に到着。一息入れる。現在位置を地図とコンパスで確認。この頃から空が怪しくなる。少し小雪が降ってきた。休憩後また歩き出す。木立の間を通りゴルフ場を横切り少しぬかるんだ道や登り坂、下り坂を経て雨ヶ峠に到着。少し休憩。短い間ではあるが自分の荷物などを引率者に持ってもらう教室生をここに来るまでに見かけたので「山登りは人に手伝ってもらうのではなく自分の力で登るものだ。」と教室生に伝える。12時過ぎに住吉川上流の七曲り入口の河原に到着。昼休憩をとった。空は依然として怪しく寒い。身体が冷えるのを避けるため早めに昼休憩を切り上げた。

12時30分に七曲りを登りだす。今回の山行で一番のポイントとした登り道である。覚悟を決めて歩き出す。ペースはすこぶるいい。不ぞろいの木や石の階段を登る。少し遅れる教室生もいたがみんな元気。一軒茶屋手前の登山道で有馬から登ってきた兵庫県山岳連盟副会長の出迎えを受ける。13時15分頃に一軒茶屋傍の広場に到着。40分余りで七曲りを登り切った。みんな頑張ったなど感心する。ここで10分の休憩をして六甲山最高峰まで最後の登り坂に行く。13時40分に六甲最高峰の木柱の前に到着。まだ空には雲が広がっている。寒いので記念写真を撮って最高峰を後にする。

13時50分下山開始。副会長から魚屋道で登山道が凍っている場所があると聞いたので教室生に注意して魚屋道を有馬に向けて歩き出す。登山道はぬかるんでいたが特に問題もなく下ることができた。途中、東屋で長い目の休憩をとる。このころからトレイルランニングのランナーが目立つようになった。トレイルランニングの大会があるとの事。同じ魚屋道を我々の横を走り抜けるのが少し気になった。15時20分頃、湯泉神社に到着。トレイルランニングのゴールも同じ湯泉神社だったが境内は広いので予定通りこの神社の境内で今年度少年団登山教室の閉校式を持った。今年度の登山教室のすべての活動に参加した教室生は4人もおり嬉しかった。この4人を含め教室生達は本当によく頑張りました。1人も体調を崩すこともなく元気に全活動を終了した。教室生達は自分の足で山を登りきった達成感と自信に満ちたいい笑顔で帰っていった。

今回、ゴールの「湯泉神社」を「温泉神社」と間違えて連絡して保護者の皆様に迷惑をかけてしまった。これから気をつけたいと反省している。

教室生がみんな元気で前向きに取り組んで参加したことに感謝したい。これが事故もなく楽しく活動ができた一番の理由だと思う。保護者の方も協力的で多いに助かった。ボランティアの先生や加盟団体会員、ジュニアリーダーの大学生のみなさんは子ども達と一緒に山に登りながら教室生への細やかな観察と注意を払った対応に感心することが多々ありました。この場を借りて感謝申し上げます。

最後に教室生のみなさんへ。これからは山を含めていろんな事にチャレンジして下さい。そこで山での経験が何かヒントになれば嬉しいです。我々も教室生の皆さんと一緒に山に登りながら山の経験を伝えるという得難い体験ができました。教室生の皆さん、一緒に山に登ってくれてありがとうございました。またどこかの山でお会いできる事を楽しみにしています。

